

ミニトマトの苗を定植

J Aしずない青年部
食育出前授業

高静小3年生が体験

【新ひだか】JAしずない青年部（若生慎吾部長、部員15人）による食育出前授業が14日、高静小学校（中村等校長、児童538人）で開かれ、3年生80人がミニトマト「太陽の瞳」の苗の定植を体験した。

同青年部は山手小、桜丘小などで野菜を育てる食育出前授業を毎年実施。

校舎裏の学校農園に集まった児童たちに青年部員の不動達也さんは「ミニトマトを育てる難しさや楽しさを体験してほしい」とあいさつ。学校の近くで新規就農でミニトマト生産を始めている石井英治さんもサポートした。

この日は、町内農家で育てたミニトマト「太陽の瞳」の苗30株とシャベル、ジョウロなどを事



前に準備。

早速、グループに分かれ、①シャベルで穴を掘る②ミニトマトの苗を定植③ジョウロに水を汲む④液肥をジョウロに入れる⑤植えた苗に水を

トマトの苗を丁寧に定植する児童たち

かける一作業を体験した。

最後に、不動さんは今後の管理として①晴れの

日には水をやる②大きくなったら添え木にひもで結ぶ③わき芽をとること（余分な芽を取り無駄な栄養を使わないように）④などを児童と約束した。

梶村憇月君（8）は「ミニトマトは好き。楽しくできた、実ができたのが楽しみ」、村上恵麻さん（8）は「初めてやって楽しかった。おもしろくてほしい」とそれぞれ感想を笑顔で話した。